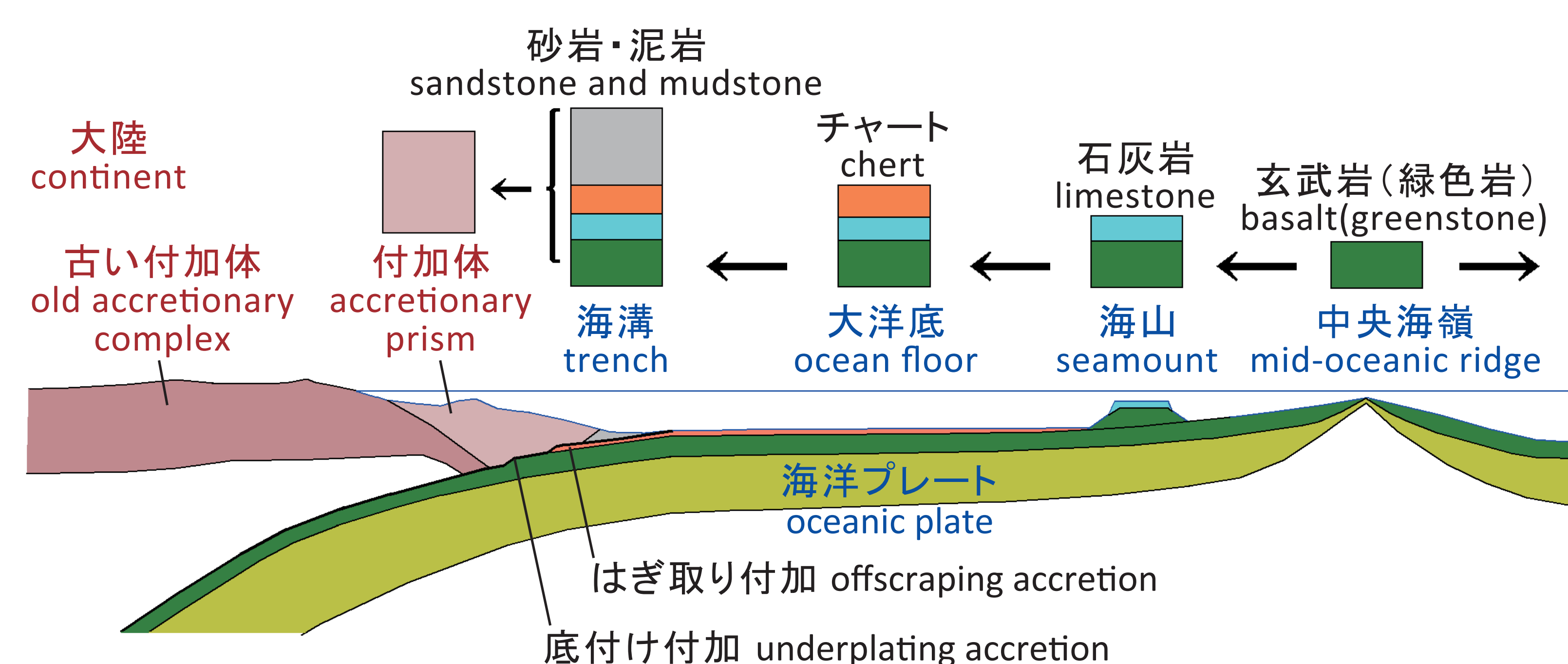




## 南アルプス鳥倉登山口～塩見岳ルート 登山道沿いの岩石 Accretionary Complex Rocks along the Trail to Mt. Shiomi

中生代ジュラ紀～白亜紀(2億年前～6600万年前)に、アジア大陸に沈み込んだ海洋プレートからはぎ取られた岩石(付加体)が露出しています。

### 付加体の岩石が誕生した場所と移動 Origin of Accretionary Complex Rocks



海洋プレートは中央海嶺で誕生します。プレート移動にともない玄武岩地殻の上に遠洋性堆積物が積み石灰岩やチャートになります。海溝では、大陸から流れ下った砂や泥が堆積します。これらは沈み込みにともない、はぎ取られて付加体になり、大陸プレートの一部になり、大陸は海溝に向かって成長していきます。



### ● 石灰岩 Limestone

登山口の灰白色の岩石は、南の島のサンゴ礁や石灰質の殻を持つ微細なプランクトンの死骸が遠洋の海底に堆積した石灰岩

現在地  
Here  
登山道  
起点

### ● 仏像構造線 Butsuzo Tectonic Line

仏像構造線は、ジュラ紀の付加体と白亜紀の付加体の境界断層で、東京の五日市から沖縄の本部半島までたどれます。断層破碎帯から水が湧き、水場になっています。

豊口山鞍部  
Mt. Toyoguchi Saddle

塩川分岐  
Shiokawa Junction

三伏山  
Mt. Sanpuku

三伏峠小屋  
Sanpuku Pass Hut

本谷山  
Mt. Hontani

新道分岐  
New Trail Junction

塩見小屋  
Shiomi Hut

塩見岳  
Mt. Shiomi

西峰

東峰

(west and east peaks)



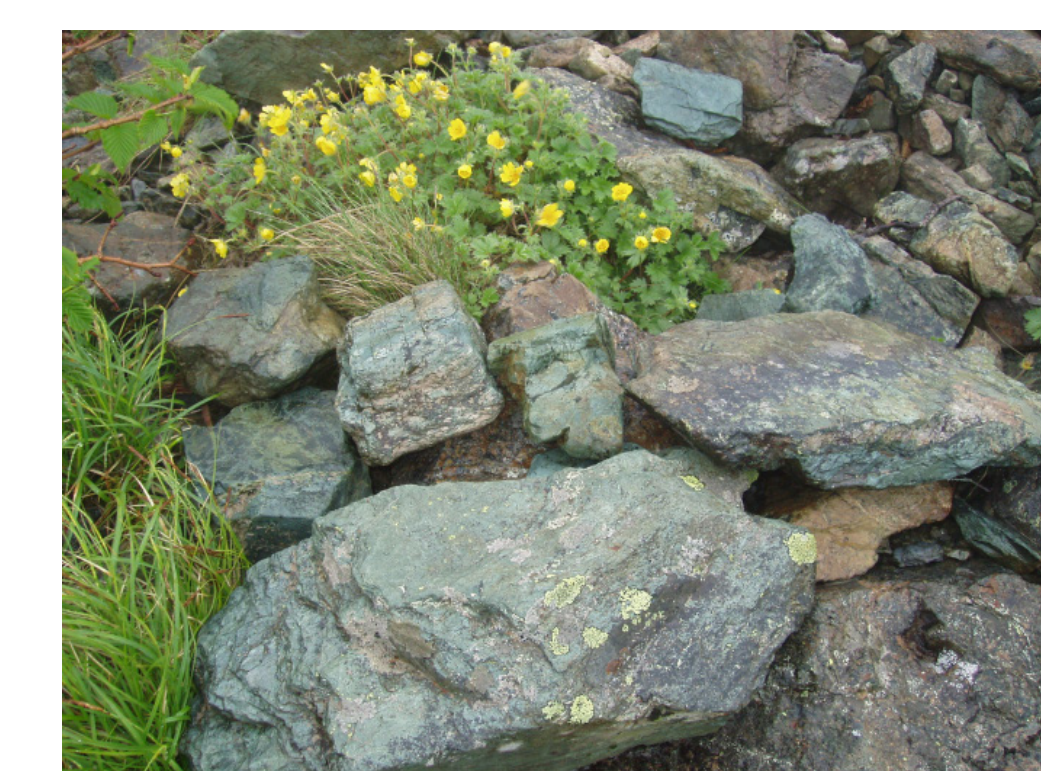
### ● チャート Chert

塩見小屋付近の灰白色で硬い岩石。石英質の殻を持つプランクトンの死骸が深海底に堆積してできます。豊口山鞍部付近にも見られます。



### ● 赤色チャート Red Chert

天狗岩付近に、鉄分を含む微細な粘土が混じった真っ赤なチャートが見られます。



### ● 緑色岩 Greenstone (altered and metamorphic ocean floor basalt)

塩見小屋の上の標高2800mから山頂までは、ほとんど緑色岩。もとは中央海嶺や海山を造った海底火山の玄武岩で、熱水変質と変成により生じた緑色の鉱物を多量に含んでいます。(夕立神展望台に緑色岩の説明があります)



### ● 砂岩 Sandstone

三伏山に露出する海溝堆積物の砂岩

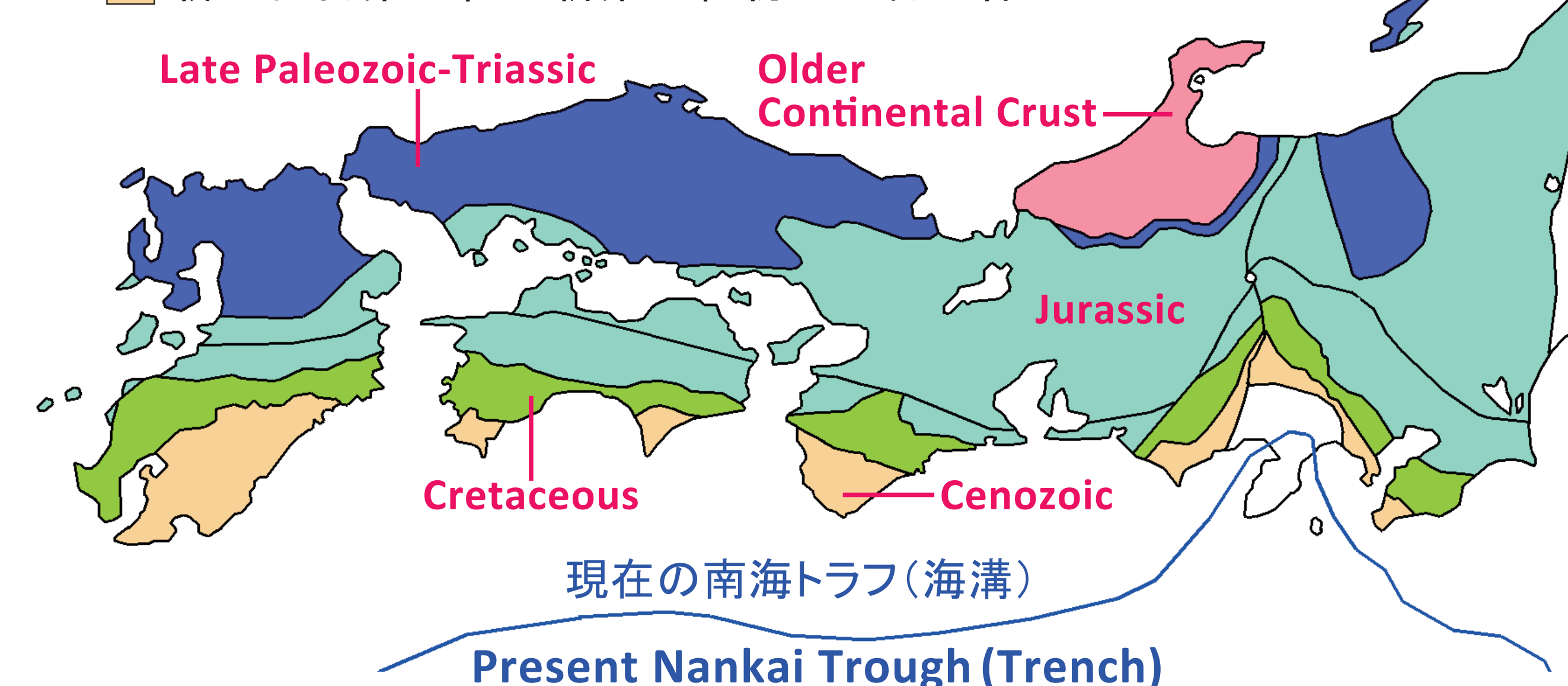


### ● 粘板岩 Slate

水場の上のガレ場に露出する海溝堆積物の泥岩(粘板岩)

### アジア大陸の縁に成長した付加体 Growth of Accretionary Complex at the Margin of Asian Continent

- 古生代以前の大陸地殻
- 古生代末～中生代三畳紀の付加体
- 中生代ジュラ紀の付加体
- 中生代白亜紀の付加体
- 新生代古第三紀～新第三紀初めの付加体



古生代末(約3億年前)から成長した付加体が、後の日本列島の土台になりました。太平洋側に向かって付加した年代は若くなり、現在も南海トラフから沈み込んだプレート境界で成長しています。

もっと知りたい方は大鹿村中央構造線博物館へ  
More information at Oshika MTL Museum TEL. 0265-39-2205